

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	九州財務局長
【提出日】	2020年7月8日
【四半期会計期間】	第96期第2四半期（自 2020年3月1日 至 2020年5月31日）
【会社名】	サンケイ化学株式会社
【英訳名】	SANKEI CHEMICAL CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 福谷 明
【本店の所在の場所】	鹿児島市南栄二丁目9番地
【電話番号】	鹿児島（099）268-7588（代表）
【事務連絡者氏名】	常務取締役総務本部長 福谷 理
【最寄りの連絡場所】	鹿児島市南栄二丁目9番地
【電話番号】	鹿児島（099）268-7588（代表）
【事務連絡者氏名】	総務部長代理 森元 利和
【縦覧に供する場所】	サンケイ化学株式会社 東京本社 （東京都台東区上野七丁目6番11号（第一下谷ビル）） 証券会員制法人 福岡証券取引所 （福岡市中央区天神二丁目14番2号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第95期 第2四半期連結 累計期間	第96期 第2四半期連結 累計期間	第95期
会計期間	自2018年 12月1日 至2019年 5月31日	自2019年 12月1日 至2020年 5月31日	自2018年 12月1日 至2019年 11月30日
売上高 (千円)	3,681,536	3,589,450	6,729,824
経常利益 (千円)	223,346	227,186	186,692
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	157,170	157,255	129,195
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	115,094	96,131	150,500
純資産額 (千円)	2,557,763	2,670,921	2,593,148
総資産額 (千円)	7,283,046	7,589,883	7,050,191
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	163.93	164.04	134.76
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	33.95	33.94	35.42
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	380,003	293,424	42,483
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	55,766	53,217	149,832
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	50,845	167,994	69,752
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (千円)	1,264,797	1,348,512	1,527,158

回次	第95期 第2四半期連結 会計期間	第96期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自2019年 3月1日 至2019年 5月31日	自2020年 3月1日 至2020年 5月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	137.46	155.85

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生、又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い社会生活全般および経済活動が制限された影響により景気が落ち込みました。5月末に緊急事態宣言が解除されたことで経済活動の再開が徐々に進んでおりますが、景気の回復には長い期間を要することが予想されており、先行きが見通せない状況にあります。

国内の農業を取り巻く環境に関しましては、ここ数年間に相次いで発行した大型の貿易協定による輸入農産物の増加に加え、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う外食自粛、学校給食の中止等による食材の需要低迷が重なり、国内の農業を取り巻く厳しい状況は続いております。

このような状況のもと、当社グループは従来からの地域密着を基本に、水稲用殺虫剤「スクミノン」ならびに食品由来物質を用いた「サンクリスタル乳剤」、「ハッパ乳剤」ならびに環境と樹木への負荷を軽減した樹幹注入剤「ウッdstar」などの独自開発品に加え、総合防除による環境保全型農業への推進、森林や公園・ゴルフ場等の緑化防除事業ならびに不快害虫防除薬剤の開発と防除事業などに注力するとともに受託生産にも努めて工場の操業度向上を図ってまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は35億89百万円（前年同期比92百万円、2.5%減）となりました。損益面では、営業利益は2億3百万円（前年同期比8百万円、4.1%増）、経常利益は2億27百万円（前年同期比3百万円、1.7%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億57百万円（前年同期比0百万円、0.1%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

当社グループの事業は単一セグメントであります。製品の用途別売上は次のとおりとなりました。

殺虫剤は水稲用が増加し売上高は20億90百万円（前年同期比53百万円、2.6%増）、殺菌剤は水稲及び園芸用が減少し売上高は3億5百万円（前年同期比1億47百万円、32.6%減）、殺虫殺菌剤は園芸用が減少し売上高は1億81百万円（前年同期比10百万円、5.7%減）、除草剤は緑化用が減少し売上高は4億82百万円（前年同期比14百万円、2.9%減）、その他は園芸用が減少し売上高は2億39百万円（前年同期比16百万円、6.4%減）、農業外その他は緑化用が増加し売上高は2億89百万円（前年同期比44百万円、18.2%増）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は75億89百万円で、前連結会計年度末に比べ5億39百万円の増加となりました。これは主に受取手形及び売掛金並びに信託受益権の増加が現金及び預金の減少を上回ったことによるものであります。

負債は49億18百万円で、前連結会計年度末に比べ4億61百万円の増加となりました。これは主に支払手形及び買掛金の増加が未払賞与の減少を上回ったことによるものであります。

純資産は26億70百万円で、前連結会計年度末に比べ77百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金の増加によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ1億78百万円減少し13億48百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、2億93百万円の減少（前年同期は3億80百万円の減少）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益2億25百万円、仕入債務の増加3億19百万円等の資金増加を、売上債権の増加7億円、たな卸資産の増加1億33百万円等の資金減少が上回ったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、53百万円の減少（前年同期は55百万円の減少）となりました。これは主に有形及び無形固定資産の取得による支出53百万円等の資金減少によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、1億67百万円の増加（前年同期は50百万円の増加）となりました。これは主に長期借入れによる収入6億円の資金増加が、長期借入金の返済による支出4億3百万円、配当金の支払額17百万円等の資金減少を上回ったことによるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は80百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	4,000,000
計	4,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (2020年5月31日)	提出日現在発行数(株) (2020年7月8日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	1,019,700	1,019,700	福岡証券取引所	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であり、単元株式数は100株であります。
計	1,019,700	1,019,700	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数 増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
2020年3月1日～ 2020年5月31日		1,019,700		664,500		295,451

(5) 【大株主の状況】

2020年5月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式(自己株式を除く。)の総数に対する所有株式数の割合(%)
サンケイ化学取引先持株会	鹿児島市南栄二丁目9番地	187	19.5
住友化学株式会社	東京都中央区新川二丁目27-1	117	12.2
公益財団法人サンケイ科学振興財団	鹿児島市南栄二丁目9番地	116	12.2
クミアイ化学工業株式会社	東京都台東区池之端一丁目4-26	51	5.4
みずほ信託銀行株式会社	東京都中央区八重洲一丁目2-1	44	4.7
株式会社鹿児島銀行	鹿児島市金生町6番6号	44	4.6
林化成株式会社	大阪市北区堂島浜一丁目2-1	19	2.1
福谷 明	鹿児島県鹿児島市	19	2.0
農林中央金庫	東京都千代田区有楽町一丁目13-2	17	1.8
福谷 理	千葉県習志野市	15	1.6
計	-	633	66.1

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2020年5月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 61,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 948,700	9,487	-
単元未満株式	普通株式 10,000	-	-
発行済株式総数	1,019,700	-	-
総株主の議決権	-	9,487	-

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が200株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数2個が含まれております。

【自己株式等】

2020年5月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
サンケイ化学(株)	鹿児島市南栄二丁目9番地	61,000	-	61,000	5.99
計	-	61,000	-	61,000	5.99

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（2007年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（2020年3月1日から2020年5月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年12月1日から2020年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、監査法人かごしま会計プロフェッションによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,527,158	1,348,512
受取手形及び売掛金	1,615,764	2,068,789
信託受益権	590,921	838,786
商品及び製品	941,617	1,055,516
仕掛品	87,528	76,578
原材料及び貯蔵品	393,520	423,696
その他	70,451	17,906
貸倒引当金	2,884	2,245
流動資産合計	5,224,079	5,827,540
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	160,044	155,961
機械装置及び運搬具(純額)	166,597	159,984
土地	304,891	304,891
リース資産(純額)	62,332	57,460
その他(純額)	27,286	33,694
有形固定資産合計	721,152	711,991
無形固定資産		
ソフトウェア	7,972	6,912
その他	6,832	2,832
無形固定資産合計	14,804	9,744
投資その他の資産		
投資有価証券	939,821	862,177
繰延税金資産	63,646	89,821
その他	101,276	103,196
貸倒引当金	14,588	14,588
投資その他の資産合計	1,090,155	1,040,606
固定資産合計	1,826,112	1,762,342
資産合計	7,050,191	7,589,883

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,182,826	1,501,842
1年内返済予定の長期借入金	715,404	761,009
リース債務	20,169	20,323
未払法人税等	21,798	74,940
賞与引当金	13,392	85,159
販売促進引当金	109,491	58,682
未払賞与	90,951	-
その他	326,053	280,797
流動負債合計	2,480,087	2,782,755
固定負債		
長期借入金	1,296,985	1,448,286
リース債務	47,301	41,960
退職給付に係る負債	345,812	351,037
役員退職慰労引当金	62,300	65,100
長期預り保証金	224,556	229,822
固定負債合計	1,976,955	2,136,206
負債合計	4,457,043	4,918,961
純資産の部		
株主資本		
資本金	664,500	664,500
資本剰余金	296,712	296,712
利益剰余金	1,381,334	1,521,334
自己株式	67,642	67,651
株主資本合計	2,274,904	2,414,895
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	222,177	160,976
その他の包括利益累計額合計	222,177	160,976
非支配株主持分	96,066	95,049
純資産合計	2,593,148	2,670,921
負債純資産合計	7,050,191	7,589,883

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)
売上高	3,681,536	3,589,450
売上原価	2,745,723	2,661,471
売上総利益	935,812	927,979
販売費及び一般管理費	740,048	724,126
営業利益	195,763	203,852
営業外収益		
受取利息及び配当金	5,795	6,052
受取賃貸料	1,462	1,473
受取保険金	-	1,265
倉庫保管料	3,143	4,339
持分法による投資利益	14,928	13,055
その他	8,626	3,634
営業外収益合計	33,956	29,821
営業外費用		
支払利息	6,316	6,347
その他	56	139
営業外費用合計	6,373	6,487
経常利益	223,346	227,186
特別利益		
受取補償金	650	-
特別利益合計	650	-
特別損失		
固定資産除却損	2,469	97
投資有価証券評価損	-	1,050
ゴルフ会員権評価損	-	245
特別損失合計	2,469	1,392
税金等調整前四半期純利益	221,527	225,794
法人税等	64,948	68,130
四半期純利益	156,579	157,663
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失()	591	408
親会社株主に帰属する四半期純利益	157,170	157,255

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)
四半期純利益	156,579	157,663
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	38,682	59,509
持分法適用会社に対する持分相当額	2,802	2,023
その他の包括利益合計	41,485	61,532
四半期包括利益	115,094	96,131
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	115,718	96,054
非支配株主に係る四半期包括利益	624	77

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	221,527	225,794
減価償却費	43,235	52,714
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	13,711	5,224
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	16,900	2,800
賞与引当金の増減額(は減少)	68,590	71,766
貸倒引当金の増減額(は減少)	1,662	638
その他の引当金の増減額(は減少)	60,933	50,808
受取利息及び受取配当金	5,795	6,052
支払利息	6,316	6,347
持分法による投資損益(は益)	14,928	13,055
固定資産除売却損益(は益)	2,469	97
投資有価証券評価損益(は益)	-	1,050
ゴルフ会員権評価損	-	245
売上債権の増減額(は増加)	797,038	700,889
たな卸資産の増減額(は増加)	162,540	133,173
仕入債務の増減額(は減少)	438,836	319,016
未払消費税等の増減額(は減少)	23,287	29,236
預り保証金の増減額(は減少)	6,604	5,266
その他	117,739	93,628
小計	352,959	278,686
利息及び配当金の受取額	8,086	8,343
利息の支払額	6,340	6,617
法人税等の還付額	0	-
法人税等の支払額	28,790	16,464
営業活動によるキャッシュ・フロー	380,003	293,424
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	54,350	53,203
投資有価証券の取得による支出	755	778
貸付けによる支出	1,000	-
貸付金の回収による収入	339	764
投資活動によるキャッシュ・フロー	55,766	53,217
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	500,000	600,000
長期借入金の返済による支出	417,296	403,094
ファイナンス・リース債務の返済による支出	11,441	10,552
自己株式の取得による支出	147	9
配当金の支払額	19,175	17,255
非支配株主への配当金の支払額	1,094	1,094
財務活動によるキャッシュ・フロー	50,845	167,994
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	384,924	178,646
現金及び現金同等物の期首残高	1,649,722	1,527,158
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,264,797	1,348,512

【注記事項】

(会計方針の変更)

(税金費用の計算方法の変更)

従来、当社及び連結子会社の税金費用につきましては、年度決算と同様の方法により計算しておりましたが、四半期決算業務の一層の効率化を図るため、第1四半期連結会計期間より連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法に変更しております。

なお、この変更による影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。また、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形及び電子記録債権

四半期連結会計期間末日満期手形及び電子記録債権の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形及び電子記録債権が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。また、電子記録債権は四半期連結貸借対照表の受取手形及び売掛金に含まれております。

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
受取手形及び売掛金	80,992千円	79,041千円

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費用及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)
従業員給料及び手当	167,191千円	157,027千円
賞与引当金繰入額	43,958	51,140
退職給付費用	20,853	19,628
役員退職慰労引当金繰入額	5,123	3,020
販売促進引当金繰入額	58,908	58,911
研究開発費	84,233	80,927
減価償却費	16,341	15,808

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)
現金及び預金	1,264,797千円	1,348,512千円
現金及び現金同等物	1,264,797	1,348,512

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2018年12月1日 至 2019年5月31日)

1. 配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年2月21日 定時株主総会	普通株式	19,175	20.00	2018年11月30日	2019年2月22日	利益剰余金

2. 株主資本の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)

1. 配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年2月20日 定時株主総会	普通株式	17,255	18.00	2019年11月30日	2020年2月21日	利益剰余金

2. 株主資本の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2018年12月1日 至 2019年5月31日)及び当第2四半期連結累計期間
(自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)

当社グループは農薬の製造販売、ならびに農薬に関連した防除作業を事業内容としており事業区分が単一セグメントのため記載しておりません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)
1株当たり四半期純利益金額	163円93銭	164円04銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (千円)	157,170	157,255
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純 利益金額(千円)	157,170	157,255
普通株式の期中平均株式数(株)	958,716	958,608

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年7月7日

サンケイ化学株式会社

取締役会 御中

監査法人 かがしま会計プロフェッション

指定社員
業務執行社員 公認会計士 西 洋一 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 山之内 茂嗣 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているサンケイ化学株式会社の2019年12月1日から2020年11月30日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2020年3月1日から2020年5月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年12月1日から2020年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、サンケイ化学株式会社及び連結子会社の2020年5月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2 XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。